

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成27年度)

調査表

施設名	県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 文化文教課

1 施設利用状況

指標	H27	H26	H25	増減理由等
施設利用者数	225,517	234,361	230,257	貸館利用者数の減少による。
利用率(ホール)	79.7%	77.7%	75.0%	
利用率(練習室)	92.1%	91.7%	94.0%	
コメント	大規模公演の開催減により施設利用者数は減少しているが、利用率はホール・練習室ともに増加しており、利用状況は安定している。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H27	H26	H25	支出	H27	H26	H25
指定管理料	420,511	420,511	402,201	人件費	109,951	100,791	103,097
委託料	49,434	214,925	41,230	事業支出	629,841	571,243	537,582
利用料金収入	58,280	56,563	54,908	県納付金(寄附金)	1,743	885	819
基金取崩収入	57,941	42,000	39,399	修繕費	29,379	227,232	49,976
その他事業収入	177,031	169,866	165,365	その他経常支出	241	7	1,283
合計(①)	763,197	903,865	703,103	合計(②)	772,899	900,158	692,757
収支差額(①-②)	-9,702	3,707	10,346				
コメント	・指定管理業務のうち県民文化振興事業については、文化事業基金の取崩益により実施している。 ・県納付金は、利用料金収入が基準額を上回ったことによる(超過額の1/2を納付、利用料金収入は県納付額を含む)。 ・財団主催公演の中止に伴い、差し引き差額でマイナスが生じた。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成27年度に新たに組み込んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	中央監視	電気、空調、給排水衛生等設備の運転操作、日常巡視点検
	清掃	日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス、カーペット)
	保守・点検	舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警備	常駐警備
	修繕	県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施(平成27年度は舞台機構ほか更新)
	備品等管理	ピアノ等定期点検実施
	安全対策	危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、避難訓練コンサートの開催
	その他	光熱水費削減
企画運営業務	サービス提供体制整備	・貸館利用者をサポートするコーディネーターの強化、充実 ・インターネットを利用したチケット予約システムの設置 ・ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応 ・接遇研修等によるサービス向上 ・近隣店舗とタイアップしたグルメマップの制作
	イベント等ソフト面充実	・自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援、県内公共ホールとの連携強化) ・宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設 ・テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実 ・友の会会員への広報活動強化 ・ホームページの充実 ・フェイスブックの活用
	施設設備等ハード面充実	・空調設備取替
	その他	・PHSを使った館内通信環境整備による利用者サービスの向上と安全管理体制の強化
管理運営体制	26名(県派遣職員2名、正職員24名(平成27年4月1日現在))	
コメント	県民の芸術文化活動の拠点としての役割は一定の成果が得られたが、今後とも県民目線に立ち県民に愛される劇場づくりに励んでいきたい。また、施設の経年劣化が進んでおり、計画に基づく効率的な改修に努めたい。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
自主事業の公演内容は概ね好評であった。特に乳幼児から入場できるコンサートは人気公演となっている。また、クラシック以外のジャンルの音楽公演も好評で、従来の観客層とは違うお客様が来場されていた。一方で、各公演のPRが不足しているとの声が聞かれた。	クラシック音楽に限らず、幅広い音楽ジャンルの公演を提供することで、新たな観客の獲得に努めるとともに、パブリシティの充実など、広報の更なる強化に努める。
駐車場不足のため、来館者や近隣住民からの苦情が絶えない。	公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、臨時駐車場の確保、誘導に努める。

5 総合評価

評価コメント	利用者サービス向上に継続的に取り組んだ結果、ホール及び練習室の利用率ともに前年度を上回り、また、利用料金収入も増加するなど、取組の成果が表れており、指定管理者制度導入の目的である、利用者サービスの向上については、一定の成果が得られたと考えている。
今後の課題と対応	今後も利用者の目線に立った見直しとともに、更なるサービス向上に努める必要がある。また、駐車場不足については、芸術劇場のみの問題としてとらえるのではなく、文化公園全体の問題として解決策の検討を進める必要がある。